

# 除染土

## どうして？

東京電力福島第一原発事故後、除染によって出た大量の汚染土をめぐって環境省は昨年、埋め立ての安全性を確認する実証事業を計画。福島県内と栃木、茨城で実施しています。「除染土を全国にばらまくな」という声が高まっています。(都光子)



環境省の有識者委員の視察(右の申)を抗議で迎えた那須町の人たち=2018年11月19日、那須町(T.noguchi 撮影)

栃木県那須町。国内有数の天然アユの遡上を誇る。道の駅「東山道伊

## 地元に説明なく埋め立て実験 住民不安「ばらまくな」の声



佐藤さん



田代さん

王野」では寒さらしそはが人気です。

そんな水自慢の町で、環境省は除染土をフレコンバッグから出し、埋め立て実証事業をおこなっています。場所は住宅地域そばの旧中学校テニスコート。昨年末に埋め立て作業が終了、現在計画中です。

実は、住民がこの計画を知ったのは、昨年2月1日付の地元紙。「那須の除染土実証事業 伊王野山村広場で実施」という記事でした。町はあわてて同月14日のホームページに掲載しました。



那須町にある看板



除染で出た土が埋まっている場所をさす平野さん

「どういふことなの？」「驚いた」というのは事業地の隣の地区に住む平野富子さん(60)。「除染で出た土はなんとかしてほしい。でも、環境省が町民の同意も得ずにやるのはおかしい」

那須町内の山林はそのままですが、住宅はほぼ全戸で除染作業がされ、はぎとった土は、その家の敷地内に埋められています。処分方法が決まっていなかったからです。平野さんの自宅の庭にも埋まっています。

**住民の説明会も**  
実証事業に疑問をもった住民と、一般社団法人被曝と健康研究プロジェクト(田代真人代表、ノ



盛り土になっていく実証事業現場

「安全です、の繰り返しだった」というのは新日本婦人の会那須町支部の住田ふじえさん(71)。「放射能汚染の問題にとりくみ、環境省との直接交渉にもいきましたが、説明もあいまいで、工事ありきの姿勢」といいます。

平野さんは「那須町のきれいな水と土が汚染されないか心配」と声を大にします。実証事業のそ

「安全です、の繰り返しだった」というのは新日本婦人の会那須町支部の住田ふじえさん(71)。「放射能汚染の問題にとりくみ、環境省との直接交渉にもいきましたが、説明もあいまいで、工事ありきの姿勢」といいます。

平野さんは「那須町のきれいな水と土が汚染されないか心配」と声を大にします。実証事業のそ

「みんなできつくる二本松・市政の会」の佐藤俊一さんは「すべての汚染物は中間貯蔵施設に運び、30年後には国の責任で県外最終処分をする。これが国との約束です。事業撤回を求める署名は最終的に8000人を超えました。環境省の再生利用方針そのものを撤回すべきです」。

松尾佐知子の  
**今晚のおかず**

◆材料(2人分)  
和風だし汁 3カップ  
鶏もも肉 150g  
マイタケ 1パック  
ゴボウ 80g  
長ネギ 1本  
計 410円

最近汁を作り、ご飯にかけて食べるというのがわが家定番に。ゴボウとマイタケの香りがいいですね。セリを入れるとさらに美味です。

◆作り方 ①ゴボウはさがさがき。マイタケはほぐし、ネギは斜め薄切りにする。

きりたんぼ抜き汁

②鶏肉はひと口大に切る。  
③だし汁に①を入れ、煮立ったら②を入れて煮る。  
④ ③をしょうゆ大さじ2、みりん小さじ2で味を調えたらできあがり。(1人分244kcal、塩分2.6g)